

厚生科学研究費補助金（21世紀型医療開拓推進事業）分担研究報告書，90-95（2002）

成人のタンパク質必要量に及ぼすエネルギー制限と肥満度の影響

池本真二（S. Ikemoto）、角田伸代（N. Tsunoda）、江端みどり（M. Ebata）、東口みづか

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 城西大学薬学部医療栄養学科

タンパク質必要量は、エネルギー摂取レベルによって大きく影響されることから、肥満者や「やせ」の者のような標準体重から大きく外れた者のタンパク質必要量を算定する際には、安静時代謝、体組成等を測定し、消費エネルギー量を評価し摂取エネルギー量とのバランスを考慮する必要がある。そこで、本年度は、「やせ」を対象として、体脂肪量、消費エネルギー量を測定し、BMIや体脂肪量と消費エネルギー量の関連性について検討した。BMI < 18.5の者であっても、体脂肪は17%~25%と個人差が大きく、安静時代謝量も絶対値で、645~1067kcal/dayとかなり異なっていた。それ故、体重kg当たりの安静時代謝量は15.7~24.8kcal/kg/dayとなり、かなりの幅があることがわかった。このことから、標準体重から外れた個人においては、エネルギー平衡維持レベルも大きく異なるものと考えられる。